

第24回

- 講演者: 正宗 淳 氏 (北海道大学理学部数学科)
 - 題目: リーマン多様体のリュービル性について
 - 日時: 2018年 03月 09日 (金) 16:30 ~ 17:30

リーマン多様体 M 上の関数の集合 F に属する調和関数が定数に限るとき、 M は F -リュービル性を満たすという。 F -リュービル性に関する代表的な結果として、完備多様体は L^p -リュービル性($1 < p < \infty$)を満たすことが知られている(Yau 1976)。一方、 $p=1$ の場合は、 L^1 -リュービル性を持たない完備多様体の例(Li-Schoen 1984)も知られており、状況は複雑である。本講演では、 L^p -リュービル性が成立しない例を述べ、次に、多様体のエンドに対して「小さいエンド」と「大きいエンド」を熱核に関する概念を用いて定義して、それらを用いて L^1 -リュービル性が成立しない条件を得る。本講演の内容は、R. Wojciechowski氏と講演者、また、A. Grigoryan氏と村田實氏と講演者の共同研究の結果の一部である。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

4 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2017/024>

Last update: **2018/03/12 14:50**

